

令和 4 年定例会 2 月定期議会
教育民生常任委員会調査報告書

令和 4 年 3 月 15 日

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和3年12月3日～令和4年2月2日

日時	活動区分	内 容	頁
12. 3 (金) 16:10～16:55	協 議	《委員のみ》 ■12月定期議会中における調査事項について ■委員会調査報告書について 〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名	—
12. 9 (木) 9:00～17:00	所管事務調査① (議案調査等)	《市民生活部》 ■登米市印鑑条例の一部を改正する条例について ■登米市国民健康保険条例の一部を改正する条例について ■令和3年度登米市一般会計補正予算（第9号）について ■令和3年度登米市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について ■令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について ■令和3年度介護保険特別会計補正予算（第2号）について ■児童館等整備基本方針について ■新型コロナウイルスワクチン交互接種について 《教育委員会》 ■登米市立学校設置条例の一部を改正する条例について ■指定管理者の指定について (登米市登米総合体育館、登米市登米総合運動公園及び登米市登米武道館) ■指定管理者の指定について (登米市南方武道伝承館、登米市南方総合運動場及び登米市南方中央運動広場) ■指定管理者の指定について (登米市高倉勝子美術館) ■令和3年度登米市一般会計補正予算（第9号）について	—

日時	活動区分	内 容	頁
		■第2期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱（案）について ■第2期登米市教育振興基本計画（案）について 〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 市民生活部 大柳部長ほか10名 教育委員会 小野寺教育長ほか12名	
	協 議	《委員のみ》 ■委員会調査報告書について 〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名	—
12.13(月) 10:00～12:00	所管事務調査② (議案調査)	《医療局》 ■令和3年度登米市病院事業会計補正予算（第3号）について ■令和3年度登米市老人保健施設事業会計補正予算（第2号）について 〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 医療局 千葉病院事業管理者ほか12名	—
	協 議	《委員のみ》 ■委員会調査報告書について ■陳情書について 〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名	—
12.15(水) 10:00～15:35	所管事務調査③	《市民生活部》 ■福祉灯油購入助成事業について ■子育て世帯への臨時特別給付金支給事業について ■（仮称）登米市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例（素案）について ■（仮称）登米市子ども・子育て基本条例骨子（案）について ■幼児教育・保育の無償化について 〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 市民生活部 大柳部長ほか10名	—

日時	活動区分	内 容	頁
12. 23(木) 10:00～12:00	所管事務調査④	《市民生活部》 ■非課税世帯等臨時特別給付金支給事業について ■新型コロナウイルスワクチン追加接種（第3回目接種）について ■（仮称）登米市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例（素案）について 〔出席者〕 武田委員長ほか委員7名 市民生活部 大柳部長ほか8名	—
	協 議	《委員のみ》 ■年間活動計画について 〔出席者〕 武田委員長ほか委員7名	—
1. 12(水) 10:00～14:00	協 議	《委員のみ》 ■「宮城東和バイオマス発電所建設計画について調査を求める陳情」に係る今後の進め方について ■意見募集結果の取扱いについて ■引継事項について ■陳情・要望について 〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名	—
1. 21(金) 10:00～11:50 13:30～15:35	所管事務調査⑤	《市民生活部》 ■（仮称）登米市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例（案）について 〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 市民生活部 大柳部長ほか5名	—
	所管事務調査⑥	《市民生活部》 ■クリーンセンターについて（現地調査） 〔出席者〕 武田委員長ほか委員8名 市民生活部 大柳部長ほか6名	5

教育民生常任委員会 活動概要

【所管事務調査⑥】

1. 日 時：令和4年1月21日（金） 午後1時30分～午後3時35分

2. 場 所：クリーンセンター、第2最終処分場

3. 事 件：クリーンセンターについて（現地調査）

4. 参 加 者：委員長 武田 節夫、副委員長 熊谷 和弘
委 員 遠藤 真理子、永島 順子、曾根 充敏、日下 俊、
工藤 淳子、中澤 宏、田口 政信

（市民生活部）部長 大柳 晃、環境事業所長 小林 昭広、
市民生活課長 武田 康博、市民生活課課長補佐 加藤 善己、
環境課長 島 靖幸、クリーンセンター所長 佐々木 清晴、
クリーンセンター係長 菅原 秀典

（議会事務局）主査 鮫名 克宏

5. 概 要：（別紙のとおり）

6. 所 見：（別紙のとおり）

■クリーンセンターについて（現地調査）

（概 要）

本委員会では「ごみの処理状況」を活動テーマのひとつとしている。今回、クリーンセンター及び第2最終処分場等の施設状況を把握するため、現地調査を実施したもの。



1. クリーンセンター等施設整備事業の概要

本市のごみ処理は焼却処理と粗大ごみ処理施設からなるクリーンセンター、焼却灰や不燃残渣を埋立処分する最終処分場及び浸出水処理施設で実施している。

平成2年度に供用開始した最終処分場は、埋立処分地の残余容量が逼迫したことから、焼却灰等を安全かつ安定した処分を行うため、平成28年度に第2最終処分場を整備している。

また、平成元年度に供用開始した旧クリーンセンターは、機器・設備が老朽化したことから、エネルギー回収推進施設（焼却処理）とマテリアルリサイクル推進施設（破碎処理）を併せて令和元年度に整備している。

整備施設名称		事業期間
第2最終処分場	埋立地	H25～H28
	浸出水処理施設	H26～H28
クリーンセンター	エネルギー回収推進施設	H27～R 元
	マテリアルリサイクル推進施設	H27～R 元

2. 施設の概要

(1) 第2最終処分場「埋立地」

工期	平成26年3月13日～平成28年11月17日
工事費	17億7,119万円
埋立容量	100,000 m ³
面積	12,365 m ² (総面積：約35,000 m ²)
計画期間	15年間
運転管理	業者委託
特徴等	☞ 焼却灰や不燃物を埋立処分する施設でサンドイッチ方式を採用した管理型最終処分場 ☞ 6層の遮水シート、漏水検知システムを設置し、地下への浸出水流下を防止 ☞ 遮水シート下の地下水も一般排水路に流入しないようにパイプラインで処理水とともに放流

(2) 第2最終処分場「浸出水処理施設」

工期	平成26年6月12日～平成28年9月30日
工事費	7億6,788万円
処理能力	45 m ³ /日
調整槽容量	1,300 m ³
運転管理	業者委託
特徴等	☞ 埋立物を通過した雨水等の処理施設 ☞ 埋立を終了した最終処分場の浸出水処理施設との処理連携や補完も可能とし、不測の事態にも対応できる施設



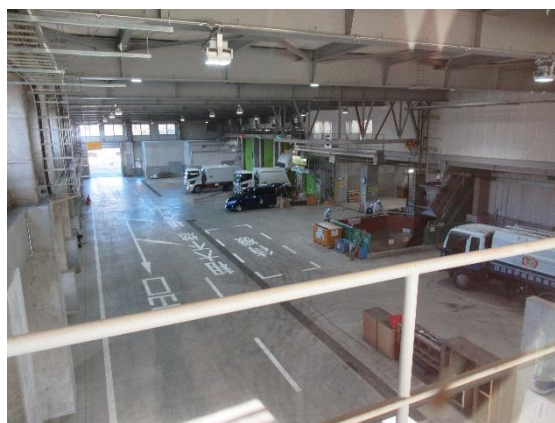
(3) クリーンセンター

工期	平成 28 年 12 月 14 日～令和元年 11 月 30 日
工事費	98 億 9,820 万円
面積	敷地面積：14,900 m ² 建築面積：3,889 m ² 延床面積：6,909 m ²
運転管理	業者委託

<施設の能力規格等>

①エネルギー回収推進施設

能力規格	処理能力：70t/24h (35t/24h×2 炉) 処理方式：ストーカ方式燃焼炉 ※階段状の火格子（ストーカ）を動かし、火格子下部より燃焼空気を送り、ごみを乾燥・燃焼・後燃焼させ、大小多様な性状のごみの完全焼却を行う。 環境面：電力使用量は若干少なく、その分二酸化炭素排出量が少ない。
ピット	容量：3,060 m ³ (490t の貯留能力) ※故障や事故、災害に対応可能
発電	☞ごみの焼却エネルギーを利用して発電し、施設内の照明、動力、冷暖房や給湯に利用 ☞余剰電力は電力会社に売電 (@18.7 円/kwh)



②マテリアルリサイクル推進施設

能力規格	○燃やせないごみ、不燃性粗大ごみ処理設備 処理能力：8 t/5 h（低・高速回転式破砕機） ※破砕機への投入口が大きい （1,590mm×1,590mm） ○可燃性粗大ごみ処理設備 処理能力：8 t/5 h（油圧せん断式破砕機） ※一般的な家具等の粗大ごみは直接投入が可能 （幅 1,800mm×奥行 3,000mm）
資源化	☞燃やせないごみ・不燃性粗大ごみの中から鉄やアルミなど資源物を回収 ※屋外資源物回収ヤードを設置し、直接搬入の古紙類、家電、金属、自転車等不燃系資源の貯留を品目ごとに区画し、荷下ろしや搬出が容易にできるよう配慮
ストックヤード	○可燃系粗大ごみヤード ○不燃系粗大ごみヤード ※プラットホーム内に区画
受付・計量	①受付窓口で計量、搬入物の確認 ②ごみの荷下ろし後、出口計量機で計量 ③自動精算機で手数料自己精算 ※2カ所計量と自動精算機導入により混雑を解消
車両動線	☞一般車両とごみ搬入・搬出車両等の動線を分離
小動物焼却炉	形式：固定床式 寸法：0.9m×1.5m×0.4m ※最大種として、ニホンジカ、カモシカを想定した寸法 受入方法：予約不要で、受入時間内に持込したものを保管用冷蔵庫に保存、数体まとめて焼却 ☞一般廃棄物として焼却、灰や骨の返還はしない。
太陽光発電システム	発電容量：740W（185W×4枚） ☞見学者説明用に設置 ☞事務室の非常用電源として、蓄電池に充電

3. クリーンセンターの「ごみ搬入状況」

(単位：t)

区分			H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
家庭系	集積所・各戸収集		11,966	12,063	12,201	12,487	12,747
	直接搬入		2,261	2,363	2,484	1,928	2,871
	家庭系 計		14,227	14,426	14,685	14,415	15,618
	前年度比較	増減量(t)	▲ 73	199	259	▲ 270	1,203
		増減率(%)	▲ 0.51	1.40	1.79	▲ 1.84	8.35
事業系	許可業者		7,151	7,224	7,023	6,995	6,659
	直接搬入		942	982	934	1,241	919
	事業系 計		8,093	8,206	7,957	8,236	7,578
	前年度比較	増減量(t)	48	113	▲ 249	279	▲ 658
		増減率(%)	0.60	1.40	▲ 3.03	3.51	▲ 7.99
合計			22,320	22,632	22,642	22,651	23,196
内訳	可燃ごみ		19,078	19,168	19,075	19,366	19,289
	不燃ごみ		1,830	1,815	1,993	1,772	1,525
	埋立ごみ		290	298	303	307	282
	粗大ごみ		1,122	1,351	1,271	1,206	2,100
前年度比較	増減量(t)		▲ 25	312	10	9	545
	増減率(%)		▲ 0.11	1.40	0.04	0.04	2.41

(所 見)

「ごみの処理状況」を調査テーマにクリーンセンターにおいて調査を実施した。調査においては資源ごみの更なる分別と回収に努力しなければと感じた。そのことは市民意見募集にも表れ、322件にも及ぶ意見が寄せられた。

特にプラスチックごみ回収には、その品目が徹底されていない。また、災害ごみの搬入についてもしっかりとした基準が表示されていない。休日や年末年始のごみ受付にも工夫が必要と考える。喫緊の課題として業務用ごみ分別化と資源化も課題である。